

課題1 効果的・効率的な野生鳥獣対策の実施



課題

里山集落では野生鳥獣の出没により**農作物被害や人的被害が発生**しているが、里山集落の過疎化、住民の高齢化といった要因に加えて、**捕獲の担い手が不足**するなど野生鳥獣対策が進まなくなる恐れがある。

Before



野生鳥獣対策としては、集落環境整備や、猟友会等と連携した捕獲などを行っているが、担い手不足や野生鳥獣の増加により、対応が追い付いていない。

After



人的な対応に加えて、**ICTを活用し、効果的かつ効率的な野生鳥獣対策で安全・安心な里山集落へ!**

いただきたい提案の例

安全・安心な里山集落に向けた鳥獣被害対策の手段や仕組みづくり



鳥獣対策用資機材の開発や既存技術の活用
ICTやドローン、ロボット等を活用した
・野生鳥獣の監視、捕獲、追い払い
・ヤブ払い等の環境整備



里山集落と連携した体験・実習フィールドとしての活用
わなの設置や地域の環境整備等、NPOや大学等による体験実習や研究活動等の実習フィールドとしての活用

※あくまで一例のため、これに限らず幅広い提案をお待ちしています。

課題2 筋電義手の普及促進

※筋電義手とは (<https://www.youtube.com/watch?v=Yj850tpoZP0>)



課題

筋電義手は通常の義手と比較して**高額**であり、また、**訓練を実施できる環境も少ない**といった要因により、**日本国内における筋電義手の普及率は低水準**となっている。

Before



県ではリハビリ訓練の充実を図るとともに、「筋電義手バンク」を設置し、寄附による協力も仰ぐなどの取組を進めているが筋電義手の普及は進んでいない。

After



これまでの取組をより拡充し、筋電義手が普及することで**障がいのある方も活躍の幅を拡げ、自分らしく輝ける社会へ!**

いただきたい提案の例

日本における筋電義手の普及率の向上を図る



筋電義手の確保

・国産義手の開発、生産
・筋電義手バンクと連携した安定的な筋電義手の導入スキームの構築



訓練機会の拡大

・当事者向けのデジタル技術を活用した新たな訓練方法づくり
・作業療法士等向けにオンラインによる研修などの育成支援



普及啓発

・筋電義手を体験できるプログラムの開発
・筋電義手を必要とする方への効果的なアプローチ方法の構築

※あくまで一例のため、これに限らず幅広い提案をお待ちしています。

課題3 認知症とともに生きる社会づくり



課題

認知症当事者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、日常生活における負担の軽減や地域での持続可能な支援が必要

Before



認知症当事者の日常生活における困りごとへの理解が進んでおらず、本人や家族向けの支援も不十分。

After



認知症当事者などの困りごとを解決できる商品・サービスが普及することで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会へ！

【困りごとの具体例】

- ・ 乗り換える駅を忘れてしまう
- ・ 予定している時間を間違えたり、忘れてしまったり
- ・ 便利なアプリやサービスがあっても使い方がよく分からない
- ・ 働く意欲や技術を持っていても、働ける場所がどこにあるのか分からない
- ・ 働く場所に行くことが難しい

いただきたい提案の例



認知症当事者や家族等向けの支援
(例)認知症当事者の位置情報や、スケジュール等を一元的に家族や支援者間で共有できるアプリなど



地域全体で支援する仕組みの構築
(例)通勤等の移動に課題を抱える方への送迎等の人的支援、ボランティアのコミュニティ形成用・情報交換用のツール



認知症当事者向けの就労支援
(例)認知症当事者のできる仕事や能力を可視化し、マッチングさせるサービス

※あくまで一例のため、これに限らず幅広い提案をお待ちしています。

課題4 生活困窮者へ必要な情報を届ける



課題

県内の生活困窮者が支援の情報に接する機会が少ない、また、言語の問題などにより十分に届いていない。

Before



生活困窮者が支援情報に接する場面に情報を届けられておらず、また、言語の問題等により、情報が当事者に伝わっていない。

After



通信機器を持たない方たちや外国につながる方々へ必要な情報を伝達する手段を確保！

いただきたい提案の例

生活困窮者への情報伝達手段等の確保



生活困窮者への情報伝達手段の確保
(例)生活困窮者が閲覧する可能性の高いHPや情報誌との連携、通信機器を持たない生活困窮者等への情報伝達手段の確保 等



外国籍県民の集う地域コミュニティへの寄り添い
(例)外国籍県民が多く集まる集会場、各国料理店等の施設やSNSに対して、支援情報を伝える仕組み 等

※あくまで一例のため、これに限らず幅広い提案をお待ちしています。

課題5 生活困窮者への支援



課題 生活困窮者は、食事だけでなく、日用品や家具といった生活に必要な物資の支援も不足しがちである。また、ひきこもりやケアリーパーなどの若者は、社会との接点が希薄になっている。

Before



生活困窮者は様々な事情を抱えており、一人一人に寄り添った支援が必要となるが、うまく行き届いていない

After 1



日々の生活に必要な物資をお届けする。

After 2



社会との接点や社会参加の機会を提供する。

いただきたい提案の例

生活困窮者一人ひとりに寄り添った支援手法の拡充



生活必需品・サービスの提供

(例) ・不要となった日用品や家具、試供品といった生活必需品等の寄付
・必要な物資を団体を通じて困窮者に届けるシステムづくり等



社会参加のための就労体験の提供

(例) ケアリーパーやひきこもりなどの若者が、社会と接点を持ち、社会参加するきっかけとなる、就労体験の提供やマッチングシステムづくり等

※あくまで一例のため、これに限らず幅広い提案をお待ちしています。

課題6 生活支援団体の活動への支援



課題 生活支援に取り組む団体(NPO等)では、生活困窮者を支援する場所や、多様な生活困窮者を支援するための専門的な人材、知識・ノウハウが不足している。

Before



NPO等が生活困窮者へ食事や就労などの支援を実施しているが、場所や人材等が不足している。

After



より多くの人に支援が行き届くよう活動のための場所を確保し、かつ専門的な人材による支援を行えるよう、団体をサポート！

いただきたい提案の例

生活支援団体の活動をより充実させるためのサポート支援



法律、学習支援、情報通信など専門知識を活かした支援

(例) ・NPO等を社員ボランティアの活動先とするなど、企業とNPO等が連携した支援体制の構築
・大学等と連携した学生による情報通信の支援や教員志望学生による学習支援 等



支援団体の活動場所等の提供

(例) 会議室や保養所などの空きスペースを活用した、学習支援等のための場の提供 等

※あくまで一例のため、これに限らず幅広い提案をお待ちしています。